

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			活動によってエリアを設定し、十分なスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			必要とされる配置数に加え、保育士を1名以上配置しています。
	③	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮がなされているか	○			事業所内の床は段差をなくしていますが、滑りやすいので配慮が必要な児童にはその都度伝えていきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			毎日の小ミーティング、月1回の支援会議の中で目標の見直しを行っています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様への事業所評価アンケートを配布。業務や支援内容の改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	○			自己評価表はホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる・コンサルの方業務に訪問して頂き評価を受け業務改善につなげています。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			スタッフに向けて年間の研修プログラムを公開し参加を促しています。オンライン開催も増え参加出来る頻度が増えてきています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメント適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の関わりからアセスメントを行い、保護者様のニーズも取り入れた支援計画書を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがるのアドバイスを受け、その都度一人ひとりに合わせたアセスメントを実施しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的にカンファレンスを行い、活動内容の立案、評価を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			一人ひとりに合わせた活動内容を設定し提供しております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定しているか	○			休日、長期休暇には外活動や事業所内での集団活動の設定を心掛けています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			発達状態に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、短期、長期目標を設定しています。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日小ミーティングを実施。（送迎で早い日はラインを活用）その日の支援内容や役割について確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を等を共有しているか	○			支援終了後には、支援の振り返りを行い、情報共有が出来る時間を設けています。（ラインの日もあり）
	⑰	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の支援内容を記録し、必要な改善点等の情報を共有しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、発達に合わせた計画の作成に努めています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインに基づいた活動プログラムを設定しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には事業所の管理者もしくは主任が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時に口頭や書面での確認、必要時の電話連絡を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要なお子さまの受け入れ実績はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			積極的な訪問には至れなかったがオンライン会議・電話・メールで情報共有や引継ぎを行った。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしているか	○			ガイドラインに基づいた活動プログラムを設定しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	積極的な参加には至れませんでした。電話やメール等でも助言を頂いたり連携する事が出来た。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○ 現状実績なし

	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	各管理者・事業所で順番を決め参加する様努めた。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時に保護者様への情報提供を行い、共通理解に努めています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○		書面にて日程の有無を確認後面談を実施しました。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容利用者負担について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に詳しい説明を行っています。
	③⑪	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っているか	○			書面にて日程の有無を確認後面談を実施しました。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援をしているか		○		書面にて日程の有無を確認後面談を実施しました。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際には、速やかに管理者会議を行い、苦情に至った経緯の把握、改善に向けて努力しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	○			書面にてお伝えしております。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには細心の注意を図っております。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性に応じたコミュニケーションツールを使用する等の配慮を行っております。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			全事業所のお祭りを開催する際には地域住民の方へ挨拶と案内を出しています。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者様へ各項目を書面にて配布⇒署名を頂き周知。職員はその都度会議で伝えている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的実施、記録している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に2回、虐待防止についての勉強会を実施しセルフチェックを行っています。
	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	2022年4月より身体拘束禁止法の義務化に伴い、次年度の(2022年度)個別支援計画より記載しております。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時にアレルギーの有無を確認、必要時には適切に対処している。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			管理者会議、もしくは事業所での会議で職員に周知し再発防止に努めております。